週刊 武四郎

第43号
2019年(平成30年)1月30日(水)
発行・松阪市

監修・松浦武四郎記念館

●毎月第五週は、
松浦武四郎のよもやま話についてご紹介します

武四郎読書ガイド

最後の5週目にあたる今回は、武四郎さんに関する本をご紹介することにいたしましょう。

まず、入手しやすい本から。

◎『松浦武四郎入門』山本命

松阪にある松浦武四郎記念館主任学芸員の山本命さんによる、まさに松浦武四郎の入門書です。

◎『松浦武四郎北の大地に立つ』合田一道

著者の合田一道さんは幕末明治期の北海道の歴史に詳しい方で、〈一歩踏み込んだ〉武四郎さんの一生がよくわかります。

◎『幕末の探検家松浦武四郎と一畳敷』高木崇世芝、安村敏信、ヘンリー・スミス、山本命他

図版中心の本なので、武四郎さんの〈すごさ〉を目で楽しめます。

◎『アイヌ人物誌・新版』松浦武四郎

武四郎さんがアイヌの姿を克明に記した『近世蝦夷人物誌』の現代語訳版です。昨年新版が出て読みやすくなりました。

◎『江戸明治の百名山を行く』渡辺隆

サブタイトルに〈登山の先駆者 松浦武四郎〉とあるように、山と武四郎さんの関わりが中心ですが、手紙や日誌からの引用も多いので、元資料をわかりやすく読み解くことができます。

◎『北加伊道』関屋敏隆

これは、絵本です。でも、大人が読んでも、とてもわかりやすくて面白いと思います。もちろん、お子さんにもお勧め。

次からの作品は、絶版になっているものもあるので、古書か図書館で探してみて下さい。

◎『静かな大地』花崎皋平

何度も版を替えて出版されてきた名著です。アイヌの人々との関わりを中心に武四郎さんの姿を描いています。

次の二冊は伝記です。武四郎研究においては、もはやバイブルのような本です。

◎『松浦武四郎』横山健堂

◎『定本松浦武四郎』吉田武三

武四郎さん自身の書いた『新版松浦武四郎自伝』もありますが、昔の言葉に慣れていないとちょっと読みづらいかもしれません。

最後に小説を……。

『北海道人』佐江衆一

『炎の旅人』本間寛治

もちろん拙作『がいなもん松浦武四郎一代』もありますぞ。

松浦武四郎（1818～1888）
三重県松阪市出身。幕末から明治にかけての探検家、著述家、蒐集家。蝦夷地（今の北海道）を6度にわたり探査し、アイヌの人々と交流を深め、蝦夷地の詳細な記録や地図を作成した。維新後、蝦夷地に代わる新たな名称として〈北海道〉のもととなる〈北加伊道〉を含む6案を政府に提案したことから〈北海道の名付け親〉と称される。

文・河治和香　装画・りんたろう　編集・細山田正人　デザイン・DOMDOM

●松浦武四郎を主人公とした小説『がいなもん 松浦武四郎一代』（河治和香著）が、小学館より好評発売中！